

485	478	472	頁
系図	写真 キャプション	1 〜 3	行
	中川与一 池谷信三郎 〈左から〉菅忠雄 川端康成 石濱金作	しかし、秀夫は鴨里の次女カツの曾孫である静子を娶ったため、秀夫の子供たちには鴨里の血が入ることとなった。この婚姻から大正期においても与一郎系岡田家は鴨里の血筋を追っていたことがわかる。	誤
次頁	川端康成 菅忠雄 〈左から〉池谷信三郎 中川与一 石濱金作	〈削除〉	正

二つの石濱家に見る幕末から大正期の淡路の先進性について

